

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	認知症高齢者家族介護支援事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	菊池 義博				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	認知症高齢者を介護する家族	意図	認知症の方の介護者の精神的な負担の軽減。
事業内容	認知症の方を介護する家族の集い（コスモスの会）を開催して情報交換と交流の場を設ける。			
事業開始から現在までの状況変化	介護家族健康教育として健康増進課で行っていたが、平成18年度から地域支援事業として介護支援課で実施している。事業費は地域支援事業交付金として交付される。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	コスモスの会参加者数	47	43	38	
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・年6回実施し、認知症の方を抱える家族の会から助言者を招き、介護者の心身の負担の軽減を図った。 ・参加者の情報交換の場にとどめず、地域包括支援センター等の個別支援につながっている。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		892,060	1,060,332	828,453			
事業費(b)(円)		193,360	369,332	75,453			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		698,700	691,000	753,000			
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	認知症推進員等と連携を図りつつ、本人や介護者のニーズを踏まえながら、精神的負担や介護負担の軽減につながる会としていく。	③取組の課題	参加者が一昨年から引き続き減少しており、周知方法・実施内容の再検討が必要。
②今年度(H27)に実施した取組	会場や時間帯、曜日を固定せずに実施。介護者の内面にある精神的な悩みを引き出し、介護者の負担を軽減した。	④今後の改善計画	座談会以外の実施内容を検討する。周知の範囲を拡大して実施する。